

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム(6か月訓練 425時間)

※6か月あたり425時間以上(OJT:Off-JT=8:2=340時間:85時間 ~ OJT:Off-JT=2:8=85時間:340時間) 8時間/日 → 約54日(425時間の勤務日数)

【活用事例1】カリキュラム(6か月訓練 425時間)

8時間/日 → 約54日(425時間の勤務日数)

| マテリアルハンドリング業における教育訓練カリキュラム | | | | |
|----------------------------|---|---|----------------------------|-----------|
| 平成22年1月作成 | | | | |
| 訓練科名(コース名) | マテリアル・ハンドリング実践科 (組立コース) | 訓練修了後の 関連職種 | マテリアル・ハンドリング業に おける製造の職種 | |
| 訓練目標 | 職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、マテリアル・ハンドリング業について、製造に係る基本的な知識と技能を習得する。 | | | |
| 仕上がり像 | マテリアル・ハンドリング業における製造に係る組立の基本的な業務ができる。 | | | |
| 職務名又は教科名 | 職務又は教科の内容 | 時間 | Off-JTの 実施主体 | 備考 |
| 実習(OJT) | 製造実習 (配膳・組立) | 各種組立機械の取扱い、各種器具使用法、図面の読み方、配膳リストの見方、部品/製品の準備・組立(配膳・組立) | 340 | / |
| | 安全衛生作業 | 5S活動、KY活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理 | 各実習に包含 | |
| | | OJT計 340.0時間 | | |
| 学科 座学等(Off-JT) | 職業能力基礎講習 | ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ | 6 | 新規採用時研修同等 |
| | 安全衛生 | 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント | 3 | |
| | 配膳・組立の基本知識 | 組立工程に関する一般的な知識、機械に関する一般的な知識(機械の種類・形状・用途)、組立機に関する概略的な知識(使用方法・機能・構造)、組立治具に関する概略的な知識(種類・形状・用途)、図面の読み方に関する知識(機械図面・制御図面)、部品の種類に関する知識(ボルト・ギヤ等)、工具の使い方、社内の現場ルール・規定 | 15 | |
| | 能力評価 | オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価) | 10 | |
| | | 学科計 34.0時間 | | |
| 実技 | 安全衛生作業 | 安全作業(5S活動、KY活動)、衛生管理実務、救急法 | 6 | |
| | 製造基本実習 (配膳・組立) | 作業指示書の見方、加工・組立機械の種類・用途、各種器具使用法、各種材料及び電子部品等の取扱い・取付方法、東・配線作業、検査方法(測定器の取扱い法) | 45 | |
| | | 実技計 51.0時間 | | |
| | | 座学等(Off-JT)計 85.0時間 | | |
| | | 有期実習型訓練合計 425.0時間 | | |
| 主要な設備 機器、教材 | マテリアル・ハンドリング機器(各種ラック、パレタイザ・デパレタイザ、コンベア)、各種組立機械、各種器具、各種検査用測定器、各種材料、電子部品等 | | | |

| マテリアルハンドリング業における教育訓練カリキュラム | | | | |
|----------------------------|---|---|----------------------------|-----------------------------|
| 平成22年1月作成 | | | | |
| 訓練科名(コース名) | マテリアル・ハンドリング実践科 (組立コース) | 訓練修了後の 関連職種 | マテリアル・ハンドリング業に おける製造の職種 | |
| 訓練目標 | 職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、マテリアル・ハンドリング業について、製造に係る基本的な知識と技能を習得する。 | | | |
| 仕上がり像 | マテリアル・ハンドリング業における製造に係る組立の基本的な業務ができる。 | | | |
| 職務名又は教科名 | 職務又は教科の内容 | 時間 | Off-JTの 実施主体 | 備考 |
| 実習(OJT) | 製造実習 (配膳・組立) | 各種組立機械の取扱い、各種器具使用法、図面の読み方、配膳リストの見方、部品/製品の準備・組立(配膳・組立) | 300 | / |
| | 安全衛生作業 | 5S活動、KY活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理 | 各実習に包含 | |
| | | OJT計 300.0時間 | | |
| 学科 座学等(Off-JT) | 職業能力基礎講習 | ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ | 6 | 新規採用時研修同等 |
| | 安全衛生 | 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント | 3 | |
| | 配膳・組立の基本知識 | 組立工程に関する一般的な知識、機械に関する一般的な知識(機械の種類・形状・用途)、組立機に関する概略的な知識(使用方法・機能・構造)、組立治具に関する概略的な知識(種類・形状・用途)、図面の読み方に関する知識(機械図面・制御図面)、部品の種類に関する知識(ボルト・ギヤ等)、工具の使い方、社内の現場ルール・規定 | 12 | |
| | 能力評価 | オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価) | 10 | |
| | | 学科計 31.0時間 | | |
| 実技 | 安全衛生作業 | 安全作業(5S活動、KY活動)、衛生管理実務、救急法 | 6 | |
| | 製造基本実習 (配膳・組立) | 作業指示書の見方、加工・組立機械の種類・用途、各種器具使用法、各種材料及び電子部品等の取扱い・取付方法、東・配線作業、検査方法(測定器の取扱い法) | 70 | 企業により、教科内容を機械関係と電気(電子)関係の区別 |
| | | 実技計 94.0時間 | | |
| | | 座学等(Off-JT)計 125.0時間 | | |
| | | 有期実習型訓練合計 425.0時間 | | |
| 主要な設備 機器、教材 | マテリアル・ハンドリング機器(各種ラック、パレタイザ・デパレタイザ、コンベア)、各種組立機械、各種器具、各種検査用測定器、各種材料、電子部品等 | | | |

変更(時間数短縮)

変更(時間数短縮)

変更(時間数短縮)

教科追加

変更(時間数増加)

経験者(パート・アルバイト)の方を対象に計画した場合

6か月間の訓練期間で就業時間数の全てを訓練時間として計画した場合

【活用事例2】カリキュラム(3か月訓練 215時間)

| マテリアルハンドリング業における教育訓練カリキュラム | | | | |
|----------------------------|---|---|----------------------------|------------------|
| 平成22年1月作成 | | | | |
| 訓練科名(コース名) | マテリアル・ハンドリング実践科 (組立コース) | 訓練修了後の 関連職種 | マテリアル・ハンドリング業に おける製造の職種 | |
| 訓練目標 | 職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、マテリアル・ハンドリング業について、製造に係る基本的な知識と技能を習得する。 | | | |
| 仕上がり像 | マテリアル・ハンドリング業における製造に係る組立の基本的な業務ができる。 | | | |
| 職務名又は教科名 | 職務又は教科の内容 | 時間 | Off-JTの 実施主体 | 備考 |
| 実習(OJT) | 製造実習 (配膳・組立) | 各種組立機械の取扱い、各種器具使用法、図面の読み方、配膳リストの見方、部品/製品の準備・組立(配膳・組立) | 172 | / |
| | 安全衛生作業 | 5S活動、KY活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理 | 各実習に包含 | |
| | | OJT計 172.0時間 | | |
| 学科 座学等(Off-JT) | 職業能力基礎講習 | ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ | 3 | 新規採用時研修同等 |
| | 安全衛生 | 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント | 1 | |
| | 配膳・組立の基本知識 | 組立工程に関する一般的な知識、機械に関する一般的な知識(機械の種類・形状・用途)、組立機に関する概略的な知識(使用方法・機能・構造)、組立治具に関する概略的な知識(種類・形状・用途)、図面の読み方に関する知識(機械図面・制御図面)、部品の種類に関する知識(ボルト・ギヤ等)、工具の使い方、社内の現場ルール・規定 | 9 | |
| | 能力評価 | オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価) | 10 | |
| | | 学科計 23.0時間 | | |
| 実技 | 安全衛生作業 | 安全作業(5S活動、KY活動)、衛生管理実務、救急法 | 2 | |
| | 製造基本実習 (配膳・組立) | 作業指示書の見方、加工・組立機械の種類・用途、各種器具使用法、 各種材料及び電子部品等の取扱い・取付方法、東・配線作業、検査方法(測定器の取扱い法) | 18 | 機械関係と電気(電子)関係の区別 |
| | | 実技計 20.0時間 | | |
| | | 座学等(Off-JT)計 43.0時間 | | |
| | | 有期実習型訓練合計 215.0時間 | | |
| 主要な設備 機器、教材 | マテリアル・ハンドリング機器(各種ラック、パレタイザ・デパレタイザ、コンベア)、各種組立機械、各種器具、各種検査用測定器、各種材料、電子部品等 | | | |

【活用事例3】カリキュラム(6か月訓練 960時間)

| マテリアルハンドリング業における教育訓練カリキュラム | | | | |
|----------------------------|---|---|----------------------------|-------------------------|
| 平成22年1月作成 | | | | |
| 訓練科名(コース名) | マテリアル・ハンドリング実践科 (組立コース) | 訓練修了後の 関連職種 | マテリアル・ハンドリング業に おける製造の職種 | |
| 訓練目標 | 職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、マテリアル・ハンドリング業について、製造に係る基本的な知識と技能を習得する。 | | | |
| 仕上がり像 | マテリアル・ハンドリング業における製造に係る組立の基本的な業務ができる。 | | | |
| 職務名又は教科名 | 職務又は教科の内容 | 時間 | Off-JTの 実施主体 | 備考 |
| 実習(OJT) | 製造実習 (配膳・組立) | 各種組立機械の取扱い、各種器具使用法、図面の読み方、配膳リストの見方、部品/製品の準備・組立(配膳・組立) | 768 | / |
| | 安全衛生作業 | 5S活動、KY活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理 | 各実習に包含 | |
| | | OJT計 768.0時間 | | |
| 学科 座学等(Off-JT) | 職業能力基礎講習 | ビジネスマナー、 コミュニケーション 、チームワーク、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ、態度、CS(顧客満足))、ホスピタリティ | 40 | コミュニケーション向上のための外部研修機関活用 |
| | 安全衛生 | 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検、KY)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント | 12 | |
| | 配膳・組立の基本知識 | 組立工程に関する一般的な知識、機械に関する一般的な知識(機械の種類・形状・用途)、組立機に関する概略的な知識(使用方法・機能・構造)、組立治具に関する概略的な知識(種類・形状・用途)、図面の読み方に関する知識(機械図面・制御図面)、部品の種類に関する知識(ボルト・ギヤ等)、工具の使い方、社内の現場ルール・規定 | 24 | |
| | 能力評価 | オリエンテーション、能力評価(企業評価、自己評価) | 10 | |
| | | 学科計 86.0時間 | | |
| 実技 | 安全衛生作業 | 安全作業(5S活動、KY活動)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生、AED操作方法) | 12 | |
| | 製造基本実習 (配膳・組立) | 作業指示書の見方、加工・組立機械の種類・用途、各種器具使用法、各種材料及び電子部品等の取扱い・取付方法、東・配線作業、検査方法(測定器の取扱い法) | 76 | |
| | | 実技計 106.0時間 | | |
| | | 座学等(Off-JT)計 192.0時間 | | |
| | | 有期実習型訓練合計 960.0時間 | | |
| 主要な設備 機器、教材 | マテリアル・ハンドリング機器(各種ラック、パレタイザ・デパレタイザ、コンベア)、各種組立機械、各種器具、各種検査用測定器、各種材料、電子部品等 | | | |

※6か月間の訓練期間で就業時間数の全てを訓練時間として計画する場合
 ・(OJT:Off-JT=8:2=768時間:192時間 ~ OJT:Off-JT=2:8=192時間:768時間)
 ・8時間/日 → 約120日(960時間の勤務日数)